AUROが創る自然な暮らし

*** Sustainability report ***

AURO

my world ... naturally

目次

アウロ・プランツェンヘミー
ごあいさつ …… 3
AURO社の歩み …… 3

はじめに
サスティナビリティとは …… 5

AUROの"礎"
基本理念と自然へのこだわり …… 6

環境管理
環境管理 …… 7
課題と参画 …… 7
トレーニング …… 7
実験と製造 …… 7

現場での取り組み
原料 …… 8
生産 …… 9
製品 …… 10
サービス …… 10
コミュニケーション …… 11

環境面からの視点
人 …… 12
水 …… 12
土 …… 13
空気 …… 13

環境方針と指針
執行役員会と監査役会による宣言 …… 14
環境方針 …… 14
環境指針 …… 15

エネルギーと原材料
原材料 …… 16
エネルギー …… 16
投入原料と排出物 …… 17
廃棄物及びその他の排出物 …… 17

健康志向な家のパイオニア
“Love what you do” …… 19
自然の価値 …… 19
自然な暮らし—AUROとともに、ありのままに …… 19

生物多様性と原材料の循環
自然と調和しながら暮らし、働く …… 21
副産物を堆肥に …… 21

実践を通じて社会へ問題提起
カーボンフットプリント …… 23
細部にわたる環境への配慮 …… 23
自然及び自然保護連盟との協力 …… 23

家具と木材の表面
人と自然に優しい製品 …… 24

木製の床
AURO製品のすばらしい特性 …… 25
クリーニング及びケア・メンテナンス …… 25

壁と天井
色が成す効果の創造 …… 26
壁は呼吸している …… 26

素敵な解決法—Brilliant ideas—
クリーニング及びケア・メンテナンス …… 27

接着剤とその他製品
AUROが作る個性豊かな製品 …… 28
人気の北欧スタイル …… 28

塗装用具と付属品
美しい色を創造する塗装用具 …… 29

おわりに
日本の自然塗料事情
重要なおはなし …… 30

AURO Pflanzenchemie AG

*** アウロ植物化学株式会社 ***

ごあいさつ

日本の皆様、こんにちは。私はアウロ植物化学株式会社のCEO エドウィン・フリベクです。当社は1983年の創業当時から一貫して「Sustainability（サスティナビリティ：持続可能性）」を基本理念として製品づくりを行っております。

日本の市場へは1993年に参入しましたが、それ以降日本のAUROマーケットは成長を続け、現在ではアジア最大規模にまで発展しました。当社は今後の、日本国内における更なる需要の拡大に対応するため、2016年9月に日本法人「アウロジャパン株式会社」（東京都千代田区）を設立いたしました。

アウロジャパンを通して私たちはこれから今まで以上に製品品質とサービスの向上を図ってまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

Edwin Hribek
CEO of AURO Pflanzenchemie AG

AURO社の歩み

1983年　AURO有限会社設立（1998年：株式会社化）

1984年　現所在地にて全製品の生産を開始

1994年　塗料メーカーとして初めてEUの統一規格に則った環境報告書を発行

1996年　・雨水を処理水及び冷却水として利用するための設備稼働
・AURO社の環境報告書が業界で1位にランクされる

1997年～2001年
「溶剤を使わない自然塗料」に関する研究プロジェクトを実施

1999年　国際環境保護団体「地球の友」から表彰される

2000年　溶剤不使用の製品「塗料と着色剤」ラインナップを販売開始

2002年　世界環境デーに、ドイツ連邦共和国首相の招きによりベルヴュー城で講演

2005年　・30㎡の太陽光発電設備で初めて発電
・高効率の潜熱回収型給湯器を新たに導入
・21㎡の太陽熱発電設備を初運転

2006年　ドイツで最も有名な消費者向け雑誌「テスト」が、22の屋外用木材着色剤をテストし、AURO社の「アクア」木材用着色剤AURO160が「テスト賞」に推薦される（ワレンテスト財団発行、2006年第5巻）

2007年　・エネルギー効率の良いボイラーを新たに設置
・カーボンニュートラル（排出した二酸化炭素を他で吸収すること）を現在まで毎年達成

2008年　ハイグレード漆喰シリーズを市場に投入

2011年　二酸化炭素排出量ゼロの壁用塗料及び漆喰を販売開始

2012年　・管理有機栽培により得られたオイルや油脂類をAURO製品に使用し、エコサート（有機認証機関）の認証や、世界海事機構・グリーンスタンプなどの機関からオーガニック認証を受ける
・エコサートによりAURO社のクリーニング及びケア製品の多くが認証される

2013年　AgBB評価機構と呼ばれるドイツの厳しい基準に適合し、またドイツ建設技術研究所・DIBtから認証を受けた、あらゆる分野の技術を応用した未来志向の製品を提供する初めての塗料メーカーとなる

2014年　約3億円を投じ自社開発「レプレビン」（バインダー成分）の生産設備を世界に先駆けて導入

2015年　自社開発のレプレビンを初めて使用したプレミアム ウォールペイント材No.524を発売

2016年　AURO社日本法人 アウロジャパン(株)を設立

2017年　AURO社独自のウォールペイント用自動調色システム導入 天然原料のみを使い790種類の色味を展開

“未来とは、誰かが予知するものではなく実現していくものだ”

アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ

アウロ・プランツェンヘミー株式会社（AURO Pflanzenchemie AG）

AURO本社はドイツ・ブラウンシュヴァイク市の南西にあり、都市高速道路A39のすぐ近くに位置しています。東側には専門家の事務所が隣接し、南側にはカーディーラー、西側には市民農園、そして北側にはゴム処理工場があります。

※社名のプランツェンヘミーは「植物化学」の意味

はじめに

*** サスティナビリティとは ***

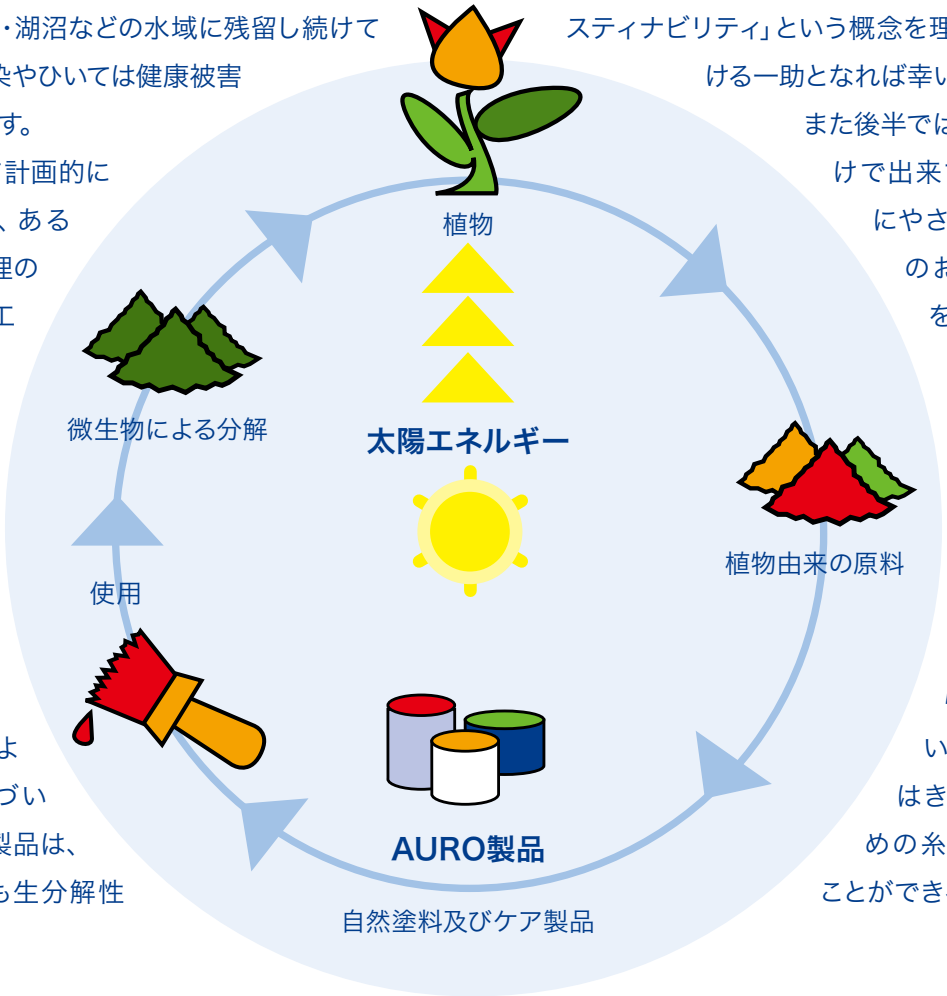
AURO社の基本理念にも登場するサスティナビリティ“sustainability”は「持続可能性」とも訳され、環境学の分野では、現在から将来にわたって無期限かつ継続的に行うことのできる生産活動を意味します。

例えば、太陽光発電や風力発電によって得られる電力は持続可能すなわちサスティナブル“sustainable”なエネルギーですが、石油や石炭などは採掘し続ければやがて枯渇するので、化石燃料による火力発電はサスティナブルと言えません。同様に石油を原料とする化学製品は持続性がないのみならず微生物によって分解される「生分解性」がないため、廃棄されると土壌中や海洋・河川・湖沼などの水域に残留し続けて深刻な環境汚染やひいては健康被害を引き起こします。

それに対して計画的に植物から採取、あるいは適切な管理の下で栽培した工芸作物から抽出した天然成分だけを原料として使用すれば、環境にやさしいサスティナブルな製品ができあがります。このような考えに基づいて生産された製品は、廃棄したあとも生分解性により100%もとの自然に還元することができるので、自然に多大な負担をかける石油に依存した生産方式で生まれる製品とは一線を画するものです。

AURO社は、厳選した天然素材によるサスティナブルな製品づくりのみならず、エネルギー・配送・設備・排出物など生産に係わるあらゆる面での環境保全にこだわりを持っています。AURO社が定期的に刊行する「サスティナビリティ報告書」からの抜粋により、同社の理念や環境保護への取り組みの一端を知っていただくことで、環境保護にとって重要ではあるもののまだ決して広く一般に認知されているとは言えない「サスティナビリティ」という概念を理解していただける一助となれば幸いです。

また後半では、天然成分だけで出来ている住環境にやさしいAURO社のお掃除用品等を紹介することで、健康的で自然な暮らしのご提案をさせていただきます。現在のお住まいに、何かしらの不安を抱いておいでの方はきっと解決のための糸口を見つけることができるでしょう。



AURO社の"礎"

基本理念と自然へのこだわり

AURO社は、環境に配慮した製品を製造する分野におけるパイオニア企業として高く評価されています。AURO社の礎は、1970年代初頭の、まだ現在のように「サスティナブルで環境に優しい化学」が社会に受け入れられていない時代にさかのぼります。

40年ほど前、植物化学技術を駆使してオーガニックで再生可能な素材を主原料に日用品を生産するという考えは時代を先取りするものでした。

当時の化学産業の一般的な方向性は原油やガスといった化石燃料の使用に基づいており、その結果、深刻な環境問題を引き起こし、人々の健康に害を及ぼすこともありました。

「石油化学由来の原料を使わない化学」という概念が、初めは冷やかされ従来の化学産業の抵抗にあったのは不思議なことではありません。アウロ・プランツェンヘミー(植物化学)株式会社の創業者である私はこれら初期の産業界の抵抗を経験し、それに耐え、遂には乗り越えました。

1970〜80年代に起きた一連の化学物質騒動によって目覚めた人や、自らが直接係わった多数の消費者を中心に、新しい概念であった私の考えを支持する人の輪が徐々に広がっていったのです。こうしてAURO社が創業当時から根気強く実施してきた「サスティナブルな化学」は社会に受け入れられ、なかには模倣する者まで現れるようになりました。

サスティナビリティという考え方が科学的原理に基づいているように、AURO社の理念も厳格な科学的基準を守ることで形成されてきました。この科学的アプローチはAURO社固有の基礎を支えるものです。学位を持つ化学者として、またAURO社の創業者として、この基礎的考えがあったからこそ自らのイデオロギーや政治的な立場の侵害に対して常に耐えることができたのです。

AURO製品の技術や化学的品質は数多くの消費者に受け入れられ、また多くの賞を受けていますが、これはAURO社の成功を支える要因のひとつにすぎません。“環境に優しい企業”の先駆けとなった会社の多くは創業初期の段階を生き抜くことができませんでした。しかしAURO社は他社と同じ運命を辿らないように、当初から科学的な誠実さを貫きながらも採算という要素を重視してきました。今日、AURO社は自然塗料の市場を牽引しているのみならず、そのサスティナブルな活動はAURO社の健康管理、経済及び組織の構造や社員の転職率の低さにも反映されています。

AURO社が成功を持続させている秘訣は「商品の技術的な質の高さ」や「経済的強み」だけでは説明できません。この二つは市場での成功に必要な条件を満たしているだけです。AURO社では優秀なマーケティングチームが最高経営責任者の指示に基づいて、市場で成功するための土台を築いてきました。このようなマーケティング戦略と継続的成功を支える根底には、AUROブランドが世界中で認知されていること、そして非常に高く評価されていることがあります。

AURO社にとってこれまで成し遂げた成功は単なる通過点にすぎません。AURO社は常に未来を見据えています。それは厳密に言うと、サスティナビリティという概念の正当性は、今この時点ではなく将来証明されるものだからです。サスティナブルなつながりや仕組みを持つ生態系は、新たな試練に柔軟に反応することで常に生き残るという結果をもたらしてきました。この仕組みは、長期的には進化と呼ばれます。AURO社は、このような生態系から常に刺激を受け、またその摂理に従わなければならないと考えています。サスティナブルな有機体として会社が将来成功するかどうかは、今後我々がどれだけ革新的であり続けられるかにかかっているのです。

AURO社創業者　Dr. ヘルマン・フィッシャー

環境管理

動物の生息地や

種の多様性を守る

環境管理

AURO社の環境管理は、実際に製品を生産する、はるか前の段階から始まっています。市場に新製品を投入したり社内で新製品の開発を進める際、まず新しい製品に関する暫定的な提案や考えをまとめ、最初に生態系に関する基本的な課題を考慮します。その製品の社会・個人的意義と目的を検討し、消費者・社会・世界・そして環境に及ぼす、短期間から中長期にわたる影響も念頭に置いて開発を進めます。

課題と参画

AURO社の環境保護体制は、経営者側から各部署長を通じて従業員へ（あるいはその逆に）指示または報告が届くというシンプルなもので、手続きの簡素化により環境・経済的課題に迅速かつ効果的に対処できるようになり、今日まで実績を積み重ねてきました。

AURO社の基本方針のひとつに「従業員が環境保護の取り組みに積極的に参加する」ことがあります。これは「単なる理論的なアプローチや指針だけでは会社の環境管理に関する取り組みとしては一貫したものにならない」と考えるからであり、地域で実際に活動を行うことも意思と現実を一致させるために重要です。

トレーニング

部署長は外部の専門的なトレーニングを受け、法令や技術に関する最新の情報を得られるようにしています。安全注意事項及び危険物を担当する監視員は、定期的なトレーニングプログラムを継続して受講し、最新の法令に関する知識を身につけます。また、従業員は社内外で実施されるトレーニングを受けます。

実験と製造

塗料の試験

新製品の実地試験

研究開発部門は、高い能力を持ち天然素材の扱いに関して経験豊富な専門家で構成されています。新たな方法により製造を開始する際には、関連する専門部署においてその環境への影響や技術的特性を吟味します。AURO社が使用する原料及びそれから生み出される製品は、一貫した製品基準を満たすために厳しい品質検査を受けています。

AURO社の製品のほとんどがドイツまたはオーストリアの工場で生産されており、ここでは原料を最大限に活用し短期間で生産することにより無駄のないサスティナブルな生産を実現しています。さらに、雨水や太陽光を利用することでエネルギーと資源の利用を最小限に抑えています。

現場での取り組み

伝統的なゴムの採取

AURO360に使用されるアカネの根

蝋を含む製品に使用する蜜蝋

原料

AURO社では、可能な限り環境に配慮した方法で植物や鉱物から採取された原料を使用するようにしています。企業が環境への配慮を、経済的・技術的に実現可能な形で自らの活動に取り入れることができれば、自らの企業行動を通じて社会・環境構造に対して何らかの影響を及ぼすことができると考えています。

例えば、ベニノキの種子から採れる「アナトー」という赤い天然の色素がAURO社の原材料リストに加わることで植物性の水性塗料に欠けていた色調が補完されました。この着色料を使うことによりAURO社はこのアナトーを伝統的に生産し使用しているエクアドルの原住民・シュアール族を支援し、また「熱帯生物学校」という組織を支援することで彼らがアンデス山脈の西に広がる破壊された熱帯雨林を再生するという目標を達成できるようにしています。

管理有機栽培により得られる亜麻仁油

これら生物由来の原料や鉱物はAURO社内で体系的に調べられ、その結果、生態系への適合性があり化学技術への応用が可能であれば高品質な天然塗料の製造に使用されます。また、天然原料の原産地やサスティナビリティも確実に検証されます。AURO社の検査員が全ての原料をロット単位で試験し記録として保管した後、実際に製品に使用されます。色の質が統一されているか、また製品の質が安定しているかといった点についても絶えず検査を行って確認しています。

使用する全ての原料の情報は製品ラベルまたはウェブサイト上に記載されています。これにより、消費者はどの製品にどの原料が使用されているかを簡単に知ることができます。さらに、原料に関する重要な特性—例えば、植物由来（サスティナブル）なのか鉱物由来なのかについての情報も公開しています。

現在、油脂類は有機栽培により管理生産されたものを使用していますが、今後もさらに多くの有機栽培原料を使用していきます。油脂類は数多くの製品に使われているため、有機栽培の原料を使えば多くの製品がその恩恵を受けることになります。油脂類は、エコサートや国際海事機関といった名の知られた組織が管理し、その優れた品質を保証しています。同時にAURO社における使用で要求される高い基準も満たしています。

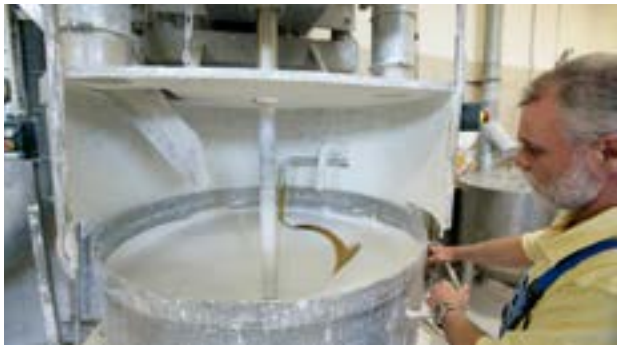
ジャングルの奥地といった辺境で栽培された原料を使用する際、AURO社はその原料の供給者に対し、ILO（国際労働機関）の規範に基づいた社会的基準を遵守するという宣誓書への署名を義務付けています。ILOの規範には、児童労働の廃止・最低労働賃金の保証・最低限の労働環境の確保・組合結成の自由・賃金交渉の権利などが含まれています。

現場での取り組み

生産

AURO製品のオートメーションによる生産で最も頻繁かつ重要な工程は、適切な量の原料を投入・調合・充填することです。ほぼ全ての主要製品が本社工場で生産されるため生産の集約につながり、常に製品価値の維持に注意を払うことができます。天然樹脂は溶解炉の中で蒸気の熱により温められ樹脂や油脂に変化しますが、その際の温度は最高でも80度以下に保たれています。完成した製品はその後、委託販売や配達されるまで倉庫の中で法基準に則って保管されます。

生産のために原料を保管庫から生産現場へ運搬する際は一部、低床トラックなどで長距離を移動させる必要がありますが、保管庫を敷地内に設置することで原料の運搬に付随する事故などの危険性を最小限に抑えています。



ウォールペイントの製造現場

ラベル貼り作業

植物性塗料の原料植物 レゼダ

製品に弾力性を与える亜麻仁油

結着剤に使う天然樹脂 ダマール

緑色の元となるクロロフィル色素

精油などの可燃性物質に付随する危険を取り除くために、安全に関する要件を設定しています。例えば、爆発防止対策として火災を感知すると直接消防署に通報されるシステムを導入しており、生産現場ではその他にも多くの対策が講じられています。

AURO社は、火災の危険性を少しでも減らす取り組みも行っています。可燃性液体用の850リットル保管容器の一つひとつにフィルターを取り付けていて、火災が発生したとき、このフィルターがあることで炎が容器の中に広がるのを防ぎ発火を食い止められるようにしています。また、火災の際に火が燃え広がるのを防ぐために建物の一部をいくつかの部分に区分けしています。従業員全員が構内に据え付けの消火器の扱い方について訓練を受けており、火災が起きた際は初期段階で消火できるようにしています。この訓練は毎年行い、従業員の火災防止に関する意識を高めています。

現場での取り組み

ウォールペイントとペイント道具

多様な商品ラインナップ

ウォールペイントの充填

製品

AURO社は環境に配慮した塗料の分野におけるパイオニア企業で、同社の塗料は技術面において先進的かつサスティナブルなものです。AURO社ではコーティング、クリーニング及びケア・メンテナンス製品を取り揃えており、建築・補修・家庭・趣味・庭仕事といったほぼ全ての分野で使用することができます。全ての製品が主に生物・鉱物由来の原料により生産されています。

AURO社ではあらゆる用途に対応したお掃除用品（クリーニング製品）を製造販売していますが、これにも同様の厳しい環境基準が適用されています。

AURO社はあらゆる用途向けのコーティング剤の最大の品揃えを誇っており、これらのコーティング剤には石油由来の溶剤及び合成樹脂を使用していません。現在及び今後の研究開発における課題は排気量の削減と屋内空気の改善です。AURO社は、業界で初めてすべてのジャンルでAgBB評価規格というドイツの厳しい基準に適合した商品を市場に投入しました。また、AgBBによる高い評価に続き、DIBt（ドイツ建設技術研究所）による建築向け商品の認証も受けました。DIBtの基準についてはwww.auro.com（独・英・仏語）からご覧いただけます。

サービス

お客様に技術的なアドバイスを提供するというサービスは、AURO社の会社理念に照らして最も重要なものと言えます。このサービスにより、お客様がAURO製品を最適な方法で、また資源を効率的に、かつ技術的にも正しい方法で使用できるよう支援します。AURO製品を使用する際は、製品に関するあらゆるレベルでの包括的なアドバイスが受けられます。AURO社は、製品ラベル・安全データシート・カタログ・ウェブサイトなどにおいて製品に関する情報を提供しています。詳細な情報が必要な場合は、専門販売店や輸入業者及び代理店などでも対応しています。

Highly recommended for living areas.
According to the criteria of the Committee for the Health-related Evaluation of Building Products (AgBB)
AgBB -tested

AURO PFLANZENCHEMIE AG
Z-157.10-138
Building product – emissions certified according to DIBt standards.

世界各国への発送業務

ブランシュヴァイク市にあるAURO社製造工場から多数の商品を発送していますが、アジアをはじめとする諸外国に向けてはコンテナ船で運搬し、大気汚染に繋がる航空便を使っての配送を極力控えています。

現場での取り組み

コミュニケーション

AURO社はお客様に対し、塗料に関する基本的な考え方やその成分・特徴・危険性について包括的な説明を行います。例えば、火災被害、自然発火、衣服の油汚れ、天然素材に対するアレルギー、一般的な安全に関する助言などです。製品には技術データシートや安全データシートがついており、使用方法や安全に関する情報を得ることができます。

アウロジャパンのウェブサイトwww.auro.co.jpでは、数多くのカタログ・参考文献、製品に関するデータベース、最新の関連情報などを閲覧することができ、AURO社の理念及び「優しい化学」について説明しています。

AURO本社（ドイツ）では、販売店や代理店が製品の使用者を対象としたセミナーやトレーニングを開催し、健全な居住環境を作り出すための「環境に配慮した建物」をテーマに講義を行っています。これらのセミナーはAURO社の販売担当者や輸入業者の協力のもとに実施されます。

定期的に展示会に出展し、広報活動を継続的に行うことで、AURO社のブランドイメージを広く周知し、新たなビジネスパートナーやお客様の獲得につなげています。また、ユーチューブ上に“AUROtv”というチャンネルを開設して最新のトピックスを取り上げ、AURO製品に関心のある視聴者に製品の扱いがいかに簡単かということを紹介しています（独・英文のみ）。

最後に、AURO社がサスティナブルな優良ブランドとして社会的に認識されているのは、「現地サービス」と「お客様からいただく多くの称賛」のおかげであることをここに補足しておきます。

製品の使い方の訓練

床磨きの研修会

コンクリート壁の塗装実演

AURO社を紹介する動画
（ドイツ語・英語のみ）

国際展示会におけるAURO社のブース

カーボンニュートラルな配送

毎日、塗料が入った数多くの箱が販売店や職人に届けられます。配送部門は二酸化炭素の排出に深く関わっているため、AURO社は、カーボンニュートラルな方法（事業活動から生じる二酸化炭素の排出量をその他の活動により相殺して補完すること）で商品を配送する信頼のおける配送業者と積極的に提携しています。カーボンニュートラルな配送方法としては透明性の高い排出削減活動や排出量を補完する対策が挙げられます。

環境面からの視点

植物性塗料を煮る工程

わずかな資源を節約して使う

敷地内に点在する緑地

人

現場で起こり得る環境への被害は、そこで働く従業員に対する被害を意味します。その主なものとして火災被害、天然素材に対するアレルギー、炎症や腐蝕など原材料に固有の危険性、樹脂の溶解や植物から着色料を煮出す際のやけどが挙げられます。

AURO社の経営の一環として、従業員一人ひとりが職場のありかたを実際に考え改善するよう動機づけています。同時に職場は、労働医学的な見地から安全を確保する仕様に基づいて設計されています。実験室と事務所エリアでは建築生態学の考えが取り入れられ、具体的には無垢材で作られた家具が設置されています。

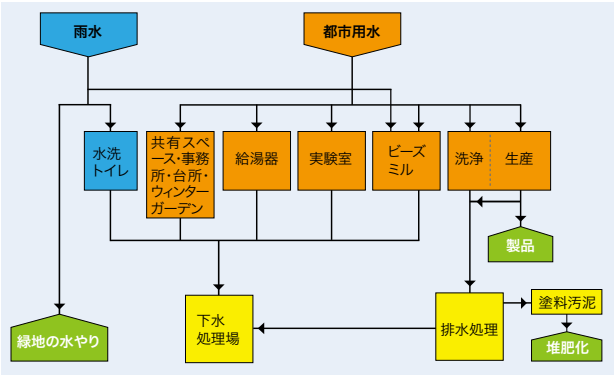
生産現場及び倉庫エリアではさらに、安全に関する規則を設け、深刻な病気を引き起こし得る慢性的な長時間労働を防ぐための対策がとられています。労働時間を柔軟に設定できる仕組みを導入することで、余暇を楽しみたいという個人としての要望と会社が設定しなければならない労働時間のバランスを最大限にとることができます。

水

近い将来、水は人類にとって最も貴重な物質になるでしょう。そのため、早くも今の時点において水を慎重かつ経済的に使用することが重要です。近年は、雨水タンク設備を地中1.5メートルの深さに設置して溜めた雨水を利用することにより都市用水の使用量を大幅に削減することができました。このタンクは常に約10度の温度に保たれた水を供給できる特別な設備で、水はポンプの力で生産工場に供給されます。水は原材料として、また原料を調合したり配合を決めたりする容器の洗浄に、そしてトイレや台所でも使用されます。ビーズミルを冷却するための水やトイレの水もさほど高い純度を求められないため、この設備でまかなわれています。また、生態系に関するガイドラインに沿って後述のように敷地内に緑地を設けており、植物の水やりにも雨水取り込み設備で得た水を利用しています。

「二重のシステム」に関する排出許可証（廃棄物再利用システム）

製造プロセスから出る廃水は、特別な設備で事前に処理した後、地域の廃水浄化システムに排出されます。システムには調節池と収集所を設け、原材料や製品が地下水や廃水浄化システムに流出するのを防いでいます。



環境面からの視点

自然のままの土と‥‥

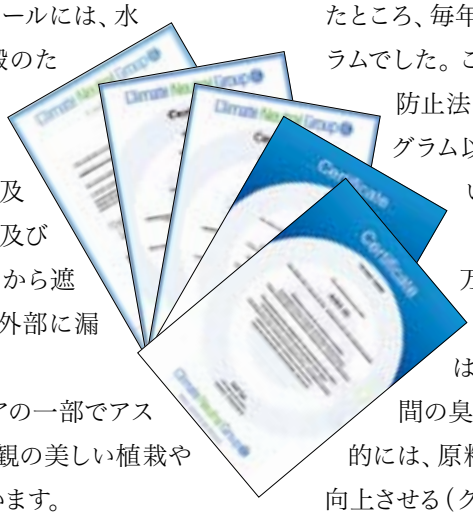
‥‥きれいな空気を‥‥

‥‥未来の世代へ

土

生産及び保管エリアでは、液体原材料が保管容器から建物の外部や地中に漏れ出ることを防ぐため容器に受け皿を敷いています。保管用第7ホールには、水資源に関する法律に則って運搬のためのエリアが特別に設置されました。これは、原材料や製品を運ぶ際に土壌や水源に影響が及ばないようにするためです。生産及び保管エリアの排水管は他の配管から遮断されていて、原材料や製品が外部に漏れ出るのを防いでいます。

また、工場敷地内の舗装エリアの一部でアスファルトをはがし、島のような外観の美しい植栽や湿地風のビオトープが作られています。



委託販売向けの保管ホール

空気

大量の精油を精製する際、植物由来の炭化水素が直接大気中に排出されます。7つある排気シャフトで計測したところ、毎年排出される炭化水素の量は約1400キログラムでした。これは、TA Luft 86というドイツの大気汚染防止法で規制された「排気量を1時間あたり3キログラム以下に抑える」という基準を大幅に下回っています。

排気シャフトからの総排気量は年間2,100万立方メートルで、排気中の臭気成分の濃度は1立方メートルあたり0〜1,820GE（GEは臭気成分濃度）の間で推移しています。年間の臭気物質排出量は分かっていませんが、長期的には、原料の配合を最適化し生産プロセスの技術を向上させる（クローズドシステムにする）ことで臭気排出量を減らすことができると考えています。

熱は加熱炉で使用される250kwのガス動力の潜熱回収型給湯器（排ガス温度：53度）、蒸気発生器（排ガス温度：143度）、及び植物性着色料の生産に使用されるボイラーから放出され、その後、排気シャフトを通って室内空気とともに大気中に排出されます。

2007年以降毎年、AURO社はクライメート・ニュートラル・グループという環境団体から「二酸化炭素排出ゼロの企業」として認定されています（写真は認定証：2009〜2013年）。

環境方針と指針

環境に対し意識を高く持つという‥‥

‥‥‥‥‥‥基本的な態度が‥‥‥‥‥‥

‥‥‥‥将来の世代を支えます

執行役員会と監査役会による宣言

AURO社の経営層及び取締役会は全ての法令順守と実践を宣言します。また、本章で述べられている環境方針と環境保護の原則に従うことも誓います。AURO社の全ての従業員は、これらの原則を守ると同時にこの原則に従って自らの行動を律します。またAURO社は、原材料の統合を進め、プロセス工学に基づいて綿密に設計された最新の設備で技術的な方法を発展させることにより、現時点で提供し得る最高の技術を追求しています。

環境方針

AURO社は、お客様・卸売業者・販売店、そして環境保護活動に取り組み実践している仕入先との話し合いを非常に大切にしています。環境保護への取り組みを継続的に改善していくためには、商品が工場を離れた後まで見据えた活動目標を設定する必要があります。環境保護の原則は、工場内にとどまらず製品が配送され使用される現場においても実践されなければなりません。AURO社の方針をより多くの人々に紹介することを目的とした一日がかりのセミナーとトレーニングを年に6〜8回工場で開催しています。

AURO社の環境方針には、政府関係者やドイツ自然保護連盟(NABU)といった環境保護団体に積極的に協力することも含まれます。政府関係者との協力は法律の遵守(承認、責任者による報告、事故の届け出など)にとどまらず、例えば、工場での環境監査において、初回の審査とその後の確認の際に優秀な工場監査官のグループを招いたり、2007年以降はNABUの活動を定期的に後援する企業キャンペーンに参加したりもしています。

AURO社は、30年以上にわたり実際の環境保護活動に積極的に参加して実り多い成果を残し環境に関する著名な賞を数多く受賞したことで、環境に配慮するパイオニア企業として高く評価されてきました。AURO社の企業理念のうち環境に関わる下記の5つの要素は特に重要な意味を持っています。

- 「環境」は、AURO社の創業当初から既に中心的な役割を担っていた。
- 全ての製品を徹底的に分析し、その利用価値を最大限に引き出すことが、あらゆる成長の基本になる。
- 塗料や表面のトリートメント剤は、その環境への影響を考慮すると、特に注意が必要な製品分野である。
- 植物由来の原料を「優しい」生産プロセスで加工するという原則は、現代のサスティナブルな資源利用の概念と合致している。
- 従来は社外秘扱いされていたような広範囲にわたる企業情報を公開する。

環境方針と指針

環境指針

人類はこれまで、石油化学を前提にした化学技術に基づいて大量の日用消耗品を際限なく生産してきました。その結果、将来の世代が享受すべき人類の尊厳を袋小路に追い詰め、もう後戻りできない状態にしてしまったのです。「生産に必要不可欠な資源を短期的に保護すればよい」という考えに基づいて近代の産業を発展させるのはもはや誤りなのです。今こそ産業の手法は、「長期的に実現可能か」そして「自ら責任を全うできる合理的なものか」という観点から真剣に検討する必要があります。これが、AURO社が自然に近い形で再生可能な天然原料を使おうと決意した第一の動機です。

二番目の動機は、現代の合成塗料の使用により中毒症状や生理的・心理的悪影響が表れてきたことです。

そして三番目の動機は、化学産業の中心のひとつである塗料という分野において、これまでの合成塗料に代わり得る天然由来の塗料が製造できると実証するのに魅力を感じたことです。

最後の動機には、妥協せずに自然環境を模倣して企業活動を進めることが現代の産業においても可能であることを証明したいという思いも込められています。このような活動は、机上の空論ではなく、また他から援助を受けて行うのでもない、完全な自給自足による独立した形で実践すべきものなのです。

アイデアを製品化する場合の基準となる考え方

- 地産地消
- 資源消費量の削減と生産性の向上
- 環境にとって最適な原料への切替
- 耐用性の向上と補修時の利便性
- 住居の持つ生物学的な要素の改善
- 人間の生物的見地からの適合性の改良
- 精神衛生上の利点
- 火災時の有害物質の発生防止
- 生産後の残留物の堆肥化率の向上

アイデアを製品化しない場合の基準となる考え方

- 生産過程におけるエネルギーの大量消費
- 毒物にあたる可能性がある製品や成分
- 使用者が生理的に受け付けないような特徴（けばけばしい色合い、人工的な匂い、滑らかすぎて息が詰まるような表面など）
- 生分解性がない成分
- 遺伝子操作された原料

高品質の天然ウッドオイル

最良の室内環境をもたらす石灰由来の塗料

溶剤不使用の水でのばせる木材着色剤

エネルギーと原材料

原材料

製品の形成に関わる全ての資材を原材料と言います。AURO社では、供給可能なあらゆる物質の中から、生物体の中で合成され「紀(100年)」単位の長い時間をかけて生態系に適合してきたものだけを選定しています。そのため、選ばれた原材料には「生分解性がない」などの環境へのリスクがありません。原材料を選定し購入する際は、環境及び社会への影響を考慮したうえで、その原材料が現在使われているものより優れているかどうかが重要な基準となります。

白色着色剤としての二酸化チタンは薄い酸を再利用する過程で得られ、またタルク(滑石)はアスベストを含まないことが確認されています。これら原料の調達は過度の自然開発を推し進め、環境に対し深刻な影響を及ぼすということを認識する必要があります。AURO社では原材料に関する取り組みの一環として、再生できない原料から作られる製品を取扱品目から減らしていく努力を継続的に行っています。原料として優先して使うべきは、何千年にもわたり伝統的に人類が使用してきた天然由来の素材なのです。

貴重で多様なAURO社の原材料

エネルギー

工場を稼働させるためには二種類のエネルギー源が必要です。ひとつは電気で、主に機械の稼動・照明設備・情報処理システムに使います。もうひとつは天然ガスで、暖房設備・工業用水設備・ボイラーに使われます。AURO社はグリーン電力を使用していますが、主にノルウェーで水力発電した電力を購入しています。自社の屋根には太陽光発電設備を設置しており、AURO社はまさに再生可能な資源から得られる電気のみを使用していると言えます。

この30㎡の太陽光発電設備は2005年に設置したもので、この設備により年間約2,500〜3,000kwの電力を発電し、発電した電気は直接市の送電システムに供給されます。

サスティナブルなエネルギー源の明るい展望

グリーン電力証明書

太陽光発電設備とソーラーパネル設備

同じく2005年に設置された21㎡のソーラーパネル設備は、新型のボイラーとともに社内に温水を供給しています。そこから生み出される熱エネルギーは、1㎡あたり年間400kwで、1年に約12,000kwの電力、天然ガスに換算して約1,200㎥を節約していることになります。

エネルギーと原材料

実験室での初めての試みから・・・・・・

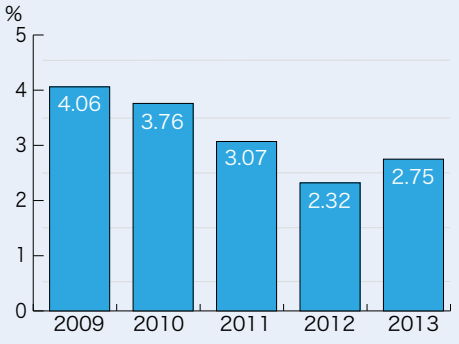
・・・・・・・・長い時間を経て製品になる

今後ますます重要になる、再生可能な資源のリサイクル

革新

AURO社の研究開発部門では、全製品の分析と、製品の使用法を最大限に効率化する試みを常に行っており、新たな製品の開発や改善の分野において数々の成果を上げています。AURO社の「石油合成製品に代わる、環境に配慮した製品を作り続けたい」という望みは市場に受け入れられ、消費者から根強い支持を受けています。

投入原料と排出物



廃棄物の割合の推移

製品の開発にあたって最も大事なのは、その製品が社会的・個人的にどんな意味を持つのか、それが消費者や社会、環境に対して短・中・長期それぞれにどのような影響を及ぼすのかを問いかけることです。このような問いに答えが出ない場合、たとえ売上や利益がその製品に期待できたとしてもそのコンセプトを採用しない場合があります。ちなみに、AURO社は創業時から全ての製品の原料についての情報を余すところなく詳細に公開してきました。

1997年から2001年までの間、AURO社は150万ユーロの費用をかけた研究開発プロジェクトを実施し、そのうち50万ユーロはドイツ連邦環境財団(DBU)の助成を受けました。このプロジェクトの目的は市場へ投入可能な全く新しいタイプの天然塗料である「アクア」という商品ブランドを開発することであり、結果として成功を収めました。このプロジェクトのために設計及び購入された三つの生産工場において、水による希釈が可能で溶剤不使用の含侵剤・下塗り剤・ニス・ワックス・木材着色剤など一連の製品が生産されました。この工場の高価な設備によりにより、防腐剤や殺生物剤を使用することなく微粒子状の結着用乳剤を安定した状態で生産することに成功したのです。

AURO社が常に掲げる目標は、製品を生産するために必要なキログラムあたりのエネルギー・原料・水の消費量を削減することです。近年では特定の用途の水及びエネルギー消費が減少しています。

廃棄物及びその他の排出物

すべての廃棄物は分別後、家庭ごみ・再利用資源・特殊廃棄物として処理されます。廃棄物を徹底して分別し量を詳細に記録した結果、その総量は増加しています。一方、排出量が減っている特定の種類の廃棄物もあります。AURO社は販売店に対し、使用期限切れあるいは破損したり傷んだりした製品を回収して適切に処分するという特別なサービスを提供しており、近年では多くの取引先がこのサービスを利用しているため特殊廃棄物の量が増加し、それに伴い再利用可能な資源として廃棄される金属(空のブリキ缶など)の量も増加しました。

1996年以降、廃水処理設備から排出される塗料及びニスの汚泥は近郊のザルツウェーデルの堆肥化工場に運ばれ、他の堆肥と混合されることで自然のサイクルに戻っています。

呼吸する家

「我が家は私の城だ」ということわざがありますが、そこにAURO社の塗料があれば一層この言葉はしっくりくるでしょう。AURO社の塗料は、プラスチックの人工的な匂いを発することなく「呼吸する」表面を作り出します。従来の塗料メーカーと異なり、AURO社は主として植物界から採取できるサスティナブルな原料を使用しています。天然の顔料やケア・メンテナンス製品が生み出す色調や表面の効果は、合成添加物では作り出せないものです。AURO製品を使用するだけで、その穏やかな心地よい香りが喜びを運んできます。あなたに健康や幸福をもたらすこれ以上のものはないでしょう。より健康で美しい生活のために、AURO社が提供する数多くの製品をぜひ体験してみてください。

健康志向な住まいのパイオニア

“Love what you do”

「自分のすることを愛しなさい」この言葉は、AURO社に日々インスピレーションを与え、またAURO社を支えているスローガンです。人間は、共通の喜びである快適な住まいや豊かな自然といった自分にとって心地よいものしか愛せないからです。天然の塗料を製造する有数の企業としてAURO社は、汚染物質や派手な色の家具を通じてではなく、暖かみがあり呼吸ができる木材表面や天然の漆喰壁の提供を通じて住居の質を高めたいと願っています。

AURO社の理念は、塗料をその製造工程全体で捉えることです。塗料の製造工程は、原材料の組み合わせや採取に始まり製造過程で出る残留物を廃棄することで終わります。AURO社の塗料、ニス、オイル、ワックス、クリーニング及びケア・メンテナンス剤は、**市場に出回っている石油由来の製品と比較しても高い効果を持つと同時に、より環境に配慮したものです。**AURO社は、副作用がなく地球環境に負荷を与えない、屋内外で使用可能な優れた製品を製造しています。1983年の創業から、ほぼ全ての分野において自然に沿った解決方法を探し求めてきました。その一例として新しい建築・補修用のコーティング剤が挙げられます。これは環境に最大限配慮した方法で製造されていて技術的品質も高く、消費者に悪影響が出るような人工の刺激物質や汚染物質は使用していません。

自然の価値

AURO製品を生活に採り入れると、自分の住む家を美しく彩り居心地の良い空間に作り上げる喜びを感じることができます。研究開発部門では、数多くの分野における革新的な製品を開発しており、DIY（日曜大工）雑誌やドイツの主要な消費者雑誌「テスト」が行った製品テストにおいて多くの優れた結果を残しました。これにより、天然由来の製品が従来の製品に匹敵するほどの技術的要件を備え、さらに地球に優しい―例えば、副産物は乾燥後堆肥化できるという素晴らしい利点を併せ持つことが明らかになりました。

AURO社は、この単純かつ効果的な原則を追求し続けます。なぜなら、私たちの未来は天然に由来するサスティナブルな原材料を基盤として発展すると信じるからです。住居の質を向上させるために、そしてAURO製品に慣れ親しむためにあなたの時間を費やしてみてください。

自然な暮らし―AUROとともに、ありのままに

AURO製品を使っておもいきり自然な暮らしを作り上げてみませんか。壁の色を変えたい時、テラスの見た目を一新したい時、お風呂を綺麗にしたい時…。天然素材の地球に優しい原料から作られたAURO製品を使えば、あなた自身にとっても環境にとっても良いことが起きるはずです。

天然由来の原材料

AURO社は、30年にもわたり主にオーガニックな原料及び鉱物を使用して多種多様な塗料とその関連製品を製造してきました。それによりAURO社は、環境保護の面と競争力を兼ね備えた価値の高い塗料の研究開発分野におけるパイオニア企業となったのです。

生物多様性と原料の循環

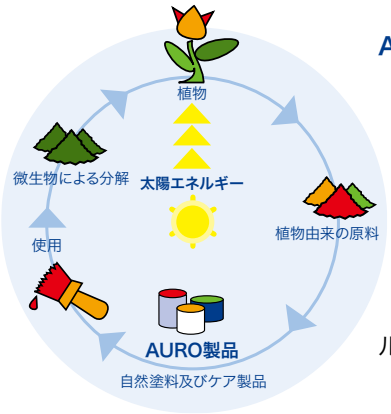
自然と調和しながら暮らし、働く

AUROというブランド名は、塗料を象徴するだけでなく自然と調和しながら居を構え生活することをイメージしています。「住む」ことに関する現代人の考え方は、天然資源をサスティナブルな方法で使用することと同じです。むしろその逆で、未来を暮らす価値のあるものにするためには、自然環境を今ある姿で次世代に残せるような新しい考え方や方策が必要です。電気の供給と同様、建築・補修用製品は、限りある資源ではなく再生可能な原料を基にしなければなりません。そのような原料の供給源は地球上に数限りなく存在します。その名は「植物」。

副産物を堆肥に

AURO社が使用する原料は、サスティナビリティに関する基準に基づいて採取及び処理されます。**AURO社が使用するオイル・樹脂・ワックス・顔料は、自然界を循環する天然の原料から作られているため、製品の寿命が尽きた時は問題なく元のサイクルに還すことができます。**AURO製品は乾燥させた状態で堆肥化することができ、塗料を使用した木材と一緒に処理することが可能です。

人工塗料が長期的にもたらす影響がほぼ予測不能なのに対し、AURO製品は未来に対する安全な投資の一部を成しています。重要な原料である亜麻仁油は、生産工場から近い場所で栽培されるため運搬にかかるエネルギーを最小限に抑えることができます。製造設備では可能な限り雨水を利用し、貴重な飲料水資源を無駄に使わないようにしています。



AURO製品の原料の循環

原料の循環は未来に対する投資であり、責任ある消費者・建築業者・建築家・契約者にとって重要なテーマです。乾燥させたAURO製品及び製品が塗られた全ての木材は使用後、簡単に堆肥化することができ、これにより自然界の物質のサイクルに還ります。

明日のことを考え、今日行動する

「環境に配慮して行動する」というAURO社の責任と約束は、天然原料や鉱物を使用することだけでは果たせません。AURO社が直面する様々な課題をサスティナブルな経営のために不可欠な条件に基づいて解決できるよう日々取り組んでいます。当面の重要な経営課題は、再生可能な資源からエネルギーを生産することです。

実践を通じて社会へ問題提起

カーボンフットプリント：排出した二酸化炭素を全て吸収しています！

AURO社が使用するグリーンエネルギーの大半はノルウェーで水力発電により生産された電気です。水力発電はほぼ再生可能であり、発電過程で二酸化炭素の排出もないため極めて効果的なエネルギーの生産方法であると言えます。ドイツの第三者試験認証機関テュフズード(TÜV SÜD)により原産地証明書が発行され、電気の生産場所が正式に認定されました。AURO社はこの水力発電と、本社屋上に設置された太陽光パネルの発電による再生可能なエネルギーだけを使用しています。

二酸化炭素に関しては、2007年にクライメート・ニュートラル・グループから塗料製造業者として世界で初めてカーボンニュートラル(排出した二酸化炭素を他で吸収すること)企業として認定されました。AURO社の要請によりクライメート・ニュートラル・グループが算出した二酸化炭素の総排出量(出張などの活動を含む毎日の通勤・生産に必要なエネルギー)に基づいて、排出された二酸化炭素を吸収するのに必要な木の本数をはじき出し、毎年数千本にものぼる木を植林しています。AURO社は、このような活動を通じて生物多様性の保存を支援し気候変動の防止に貢献することに喜びを感じています。

細部にわたる環境への配慮

AURO社では環境に配慮した方法で生産されたオイル(オーガニック認証を受けた原料)を使用しています。AURO製品の多くはオイルを含んでいるため、オイルがオーガニック生産であれば数多くの商品でオーガニックな原料が使用されることになります。オイルは、エコサートや国際海事機関といった組織が定期的に管理し優れた品質を保証しており、同時にAURO社における使用で要求される高い基準も満たしています。

自然及び自然保護連盟との協力

環境に配慮する企業としてAURO社は生物多様性に大きな関心を寄せています。

AURO社は塗料に含まれる天然由来の原料のほとんどを植物から得ていますが、活動はこれだけにとどまりません。植物相が損なわれることなく保全されている状態が生態系のバランスの維持と環境の保全にとって重要だと考えています。そのため、AURO社はドイツ自然保護連盟(NABU)と緊密に協力しあい、両者は互いに最良のパートナーであると言えます。NABUが100年以上にわたり環境問題を訴え続けているのに対し、AURO社は環境及びサスティナビリティに関する厳しい理念を実行することで、環境保護に貢献してきました。

人類と自然の利益を求めて

AURO社とNABUの協力について、またNABUの一般的な活動について詳細を知りたい方はウェブサイトwww.nabu.de(ドイツ語)をご覧ください。英語での情報はwww.nabu.de/enからご覧になれます。

NABU

家具と木材の表面

*** ナチュラルな手入れ方法　木材の確実な保護 ***

人と自然に優しい製品

無垢材でできた家具は、意外にもオイル・ワックスがけをすることがとても重要です。そうすることにより、日々の使用による摩耗から家具を保護し長持ちさせることができます。テーブルやキッチンカウンターを湿気や食品の汚れから保護するには天然由来のAURO製オイルやワックスが適しています。AURO製品は日々酷使されるキッチンやカウンターに最適です。

大切な家具に色を塗る際はAURO社の優れた塗料とニスが最適です。あなたの好みに合わせ、塗膜形成タイプか含侵タイプか、光沢仕上げかサテン仕上げかを選べます。もちろん数多くの色の中から一番好きな色を自由に選択できます。AURO社が「アクア」というブランド名で販売する塗料とニスは、溶剤を使わず水溶性で非常に環境に配慮した製品です。その穏やかな香りと、EUの玩具に関するEN規格71-3の認証を受けていることから、子供部屋での使用に理想的な製品です。

AURO社の木材着色剤

AURO社では、様々な色の木材着色剤を取り揃えています。簡単に調合でき、何種類もの色を作り出すことが可能です。アクア木材着色剤No.160-84（茶色）はドイツ最大の消費者雑誌「テスト」（2006年5月発行）において行われた製品テストで優勝しました。この素晴らしい結果により、サスティナブルな原料を選択するというAURO社の理念の正当性が認められました。

色鮮やか、雨風に耐える

日々の使用に耐えられるよう適切な方法で保護しなければならないのは、リビングルームに置かれた家具だけではありません。屋外にある家具もまた、雨風に耐えるための保護が必要です。屋外家具用オイル・テラスオイルは、日光・雨・日々の傷から木材を保護します。この製品を使って定期的に屋外家具やテラスを手入れすれば、心地よい夏の夕べを何度も屋外で過ごすことができるでしょう。

AURO Colour Designer —自由な想像力を形に

AURO社は、木材の表面を色彩豊かにデザインするための、無限の可能性を提供します。AUROウェブサイトwww.auro.com（独・英・仏語）上のColour Designerというツールがあります。ウェブ上で、選んだ色の効果を色々なタイプのリビングルームに試し塗りすることが可能です。

木製の床

*** 最高級の仕上げ　サスティナブルな手入れ方法 ***

天然木材はあらゆる形に姿を変えて、昔から住まいを美しく見せるための中心的な素材となってきました。また天然木材は、今なお最も現代的な素材の一つでもあります。貴重な寄木張りの木から素朴な床板まで、木製の床は見た目が美しいだけでなく肌触りも良く、アットホームな雰囲気を作り出します。

AURO製品のすばらしい特性

AURO製オイルとワックスは、自然な仕上がりで床を手入れできるため現代家屋に最適な製品です。AURO製品で床を手入れすることで、自然なままの素材と独創的なデザインに調和が生まれます。また、溶剤不使用の画期的製品ワンオフオイルワックス（AURO No.125）もお勧めです。この製品は、天然木材特有の肌触りの良さや木の温かみを十分に維持します。木の表面は密閉されず「呼吸」できるようになっているため、室内の空気環境の改善につながります。このような特長は専門家や一般の使用者から高く評価されています。

AURO社は、あらゆる種類の木材や床板、そしてあらゆるレベルの摩耗に適切に対応できる製品を取り揃えています。天然素材から作られたケア製品が木製の床の美しさと価値を維持します。

ご提案：無垢材に代わる木材としてコルクを使用してみませんか。コルクには耐摩耗性があり、感じの良い雰囲気を出せる素材です。AURO社のオイル・ワックスやケア製品はコルクに対しても問題なく使用できます。

クリーニング及びケア・メンテナンス

近年、アレルギーや呼吸器系の疾患に苦しむ人が増えています。屋内にある木材の表面を人に優しい製品で清掃したり手入れしたりすることが大切です。AURO製の乳剤・石鹸・中性ハウスケア剤などを使えば、無垢材の床を容易かつ効果的に掃除し維持することができます。非常に汚れた表面でも自然の力を借りれば真新しくなります。

Tips and videos

AUROウェブサイトwww.auro.com（独・英・仏語）上では、経験に基づいた最新のお勧め情報が紹介されていま　す。“Living with AURO”（AURO製品のある暮らし）というセクションの“Handy tips”（役立つアドバイス）をご覧ください。ここでは、表面の下処理方法、塗装用具のメンテナンス方法、オイルやワックスを塗る前に床を紙やすりで磨く方法といった様々な実践的知識を紹介しています。
またユーチューブ上の“AUROtv”というチャンネルでは、床にオイルやワックスを塗る方法を実演した動画や、その他のAURO製品の使用に関連する動画が見られます。

壁と天井

*** 幸せをもたらすデザイン ***

色が成す効果の創造

色彩はBGMや魅力的な香りと同じく人生に欠かせないものです。想像力を駆使して色をうまく組み合わせれば、家中のいたるところに独自の雰囲気を作り出せます。環境に優しいAURO社の塗料はあなたの家を健康な空間にします。また、**この塗料は有機栽培された原料や鉱物から作られており、その製造は可能な限り人と環境に負荷を与えないという原則に従って行われています。もちろん人工顔料や有害物質は含まれていません。**

トラディショナル・革新的・モダン・カントリー調・アジアン・地中海風・その地方独自のスタイル。AURO製のウォールペイントがあればありとあらゆるスタイルのインテリアを作りあげることができます。濃い色・パステカラー・淡い色・明るい色。着色用塗料や透明なラッカーとちょっとしたコツを使えば、一つひとつが異なる印象を持つ、様々な色合いを生み出せます。下地塗装がシンプルな塗り壁剤やザラザラした漆喰であっても、その上から美しく塗ることができます。

壁は呼吸している

AURO製塗料の優れた特長の一つに、「室内空気の改善への貢献」が挙げられます。塗装後でも壁や天井の素材が本来持つ、室内の湿度を調整する特性を発揮できます。代表的な製品がハイグレード漆喰シリーズ(AURO No.342、344、350)です。この製品はカビの繁殖を防ぐのに最適ですし、カラフルな色で目を引くためにも使われます。

AURO社が提供するカラー漆喰の印象的で生き生きとした色は、どんな色合いにも調和します。この塗料を使えば最高の住環境が実現できるので、もう二度と手放せなくなるでしょう。

新着 News

2017年よりAURO本社（ドイツ）では、ウォールペイント用自動調合システムを導入し、790種類以上の色に対応した「調合済みウォールペイント材」の販売サービスを開始しました。日本（アウロジャパン社）でも、数年以内に同システムの導入を目指しております。

素敵な解決法 - Brilliant ideas -

*** 環境に配慮した強力なクリーニング ***

クリーニング及びケア・メンテナンス―家のいたるところで

AURO製の専用ハウスケア用品は木製家具や床を長年にわたり使用した後も美しく保ちます。しかし、日々の家事ではステンレス製の表面やオーブン、セラミック製の浴室といった木材以外の材質の手入れも行います。全てのAURO製品は、通常のクリーニング剤にはたいてい含まれる化学薬品を使用しないため環境に優しいやり方で家事を行うことができます。AURO製品で日々の暮らしを豊かにするために、AURO社は「**Brilliant ideas**」(素敵な解決法) というプログラムを開発しました。

毎日の家事を通じてあなたの皮膚は洗剤、専用クリーナー、その他あらゆるハウスケア用品に接触し、ハウスケア用品で手入れした換気扇・シンク・鍋といったものも扱います。AURO社のラインナップは、これらの家事を簡単にするお手伝いをします。AURO製品は、天然素材が持つ高い洗浄力を備えるだけでなく使用する人の肌に刺激を与えません。洗浄効果を生むための必要最低限の原料だけを含み、肌に有害な人工香料や刺激物質、そしてアレルギーの原因となる不要な物質は使用していません。

素敵な解決法

AURO社のクリーニング及びケア・メンテナンス剤は、磨き抜かれた技術を駆使して製造した高品質の製品であるだけでなく、環境に負荷を与えないという特性も付加した完璧なものです。

環境を守るために

AURO製品を使用することによって環境破壊の防止に寄与することができます。なぜなら、AURO製品には生分解性があり全ての成分が自然に還るため、海や河川などの水域に余計な負担をかけることがないからです。これは、物質を自然界のサイクルに戻すというAURO社の理念を実践したものです。

接着剤とその他製品

*** ひとつ屋根の下の素晴らしい製品群 ***

スウェーデン風に赤色で塗った壁に対し白い窓枠とドアを設置すると「北欧スタイル」の家が完成します。スウェーデン産のオリジナル塗料は鉱石採掘の副産物からなり重金属を含んでいるため、AURO製スウェーデン風赤色塗料はこれに代わる環境に優しい製品であると言えます。

AUROが作る個性豊かな製品

AURO社の製品ラインナップは、その原料の供給元である自然界のように多様性に満ちています。AURO社は環境や品質に関する理念を可能な限り皆様と共有できるよう、生活の全分野において一級の製品を開発・生産するために日々努力しています。壁紙用の接着剤、塗装用ハケの徹底的な洗浄、子どもたちとの楽しい工作。AURO社ではこれらの要望に応える製品を取り揃えています。

人気の北欧スタイル

カーペットやタイル、リノリウムを敷く際にはAURO製の接着剤をお勧めします。塗料と同様に天然素材から作られているため安全で、素材を保護する効果もあります。

同じことが、多くの分野で使用される専用品にも当てはまります。例えば、煉瓦やテラスに敷く素焼きのタイルを磨くためのオイルは下塗り剤として大切な材料を保護するという効果も持っています。

家や夏の別荘の外観を飾る木材にAURO製のスウェーデン風赤色塗料を塗れば典型的な北欧スタイルが完成します。この艶消し塗料は、湿度が低い日は明るめに、湿気が多い日は濃いめに、というように天気によって色合いが変化します。

生分解性を持つ接着剤でDIY

AURO製の天然成分を原料とするナチュラルな接着剤を使えば、人工的な刺激物質や有害物質にさらされることなく工作や簡単な補修を行うことができます。

世界中のAURO製品販売パートナー

AURO社のウェブサイトwww.auro.com上の“AURO Worldwide”（世界に広がるAURO）というセクションでは多くの国々の販売提携先を知ることができます。これらの販売提携先は、AURO製品とその使用方法に関する専門的知識を持っておりAURO製品を使用する皆様をサポートします。また、環境に優しい建築資材やAURO製塗料・ニス・ハウスケア用品の使用に関する有益なアドバイスも提供します。

塗装用具と付属品

*** 塗装用の専門的道具 ***

美しい色を創造する塗装用具

バイオリンが美しい音楽を奏でるには適切な弓が必要です。完璧なディナーを準備するには、その状況に合う優れた台所用品を必要とします。同じことが部屋を改修する際にもいえます。AURO社は、幅広い用途向けの専門的な塗装用具と付属品を提供しています。最高に素晴らしい色彩を創造するために、そしてあなたに無限の喜びをもたらすために。ささいな道具ですが、これらを組み合わせて使うことで塗装という作業に完璧な「流れ」が生まれます。塗装用具は丈夫な作りのため、ハケの毛が抜けたりローラーにちりが付いたりして作業が中断されるということがありません。ローラーやハケは技術的品質が高いため、とても美しく塗装できます。プロ仕様のAURO製塗装用具と付属品は、繊細さが求められる作業にうってつけです。

ウェブサイトの紹介

AURO社は英語版のウェブサイトを通じて多くの情報を提供しています。“Living with AURO”（AURO製　品のある暮らし）というセクションでは、最新の流行色や色彩心理学に関する基本知識、インテリアデザインと飾りつけに関する助言やコツ、その他多くの情報を紹介しています。ぜひ家づくりのヒントにしてみてください。また、Colour Designerというツールを使って納得のいくまで色の組み合わせを試し、リビングルームやテラスに合う最高の色を見つけることができます。実際に家を塗装する際に失敗しないようにAURO製品を正しく使用するためのアドバイスやコツも掲載しています。

AUROチャンネル

ユーチューブ上の“AUROtv”というチャンネルでは、様々なテーマのAURO製品の使用に関する面白くて役立つ動画を見ることができます。www.youtube.de/aurotvを訪問してみてください。

おわりに

*** 重要なおはなし ***

日本の自然塗料事情

皆さんに質問です。

自然塗料とは、どんな塗料のことを指すと思いますか?

サステイナブルな塗料

以前、同様の質問をもとに国内でアンケート調査を行ったことがあります。
(調査:国内にお住まいの成人　男性・女性問わず750人が対象)

結果は、言葉や表現方法が多少違ったとしてもほぼすべての回答が
「天然原料だけを使ってつくられた塗料」
というものでした。みなさんも同じ認識ではないでしょうか。補足しておきますが
石油合成原料を多く含む製品を肯定的にとらえる回答はひとつもありませんでした。

さて、環境先進国・ドイツでは、「**自然塗料**=原則的に石油合成原料を含まない塗料」と定義されており、石油合成原料を多く含む塗料は**自然塗料**と名乗ることはできません。しかし日本国内では、**自然塗料**の定義が確立されていないため、海外では**自然塗料**には分類されない塗料も、国内では公然と**自然塗料**として流通・販売されております。

最近では、**偽の自然塗料メーカー**が、石油合成原料主体の塗料を『食品と同じくらい安全』などと謳い始めるなど、日本の**自然塗料**業界は無法地帯の様相を呈してきております。また**偽の自然塗料**を扱う企業は、如何にして「**偽の自然塗料**」を「**本物の自然塗料**」のように見せようかと、工夫を凝らしているため厄介です。この実情を踏まえ**日本の自然塗料市場は、偽の自然塗料に90%以上が侵食されてしまっている**と言っても過言ではありません。

偽の自然塗料メーカーが、天然成分よりも安全とする石油合成原料は、主に**ミネラルオイル・ミネラルスピリット・イソパラフィン・イソアリファーテ・イソアルカン**と称されるものですが、これらはガソリンが精製される際の副産物であり非常に安価な原料です。また**偽の自然塗料メーカー**は石油合成原料を主に「塗料の**溶剤**」に使っていますが 、**溶剤**は一般的に塗料の50〜70%を占める原料ですから、**溶剤**が石油合成原料ということであれば、その製品は、ほとんどが**石油合成原料**から成るといってもいいでしょう。それにも関わらず、**偽の自然塗料メーカー**は、わずかに添加した植物原料にフォーカスをあて、「**偽の自然塗料**」をあたかも「**植物原料だけでできている製品(自然塗料)**」のように見せています。なぜ原料として一番多く含有される**溶剤**(石油合成原料)の情報を目立たないところに隠してしまうのでしょうか。

おわりに

*** 重要なおはなし ***

日本の自然塗料事情

AURO社のテーマは「**サスティナビリティ（持続可能性）の追求**」です。その中で「石油合成物質を使わないこと」や「原料植物のオーガニック生産」等の取り組みが必要となり、製品の「安全性」や「環境性能」等、多くの「効果」につながっているわけです。（下のイラスト参照）

本物の自然塗料の製造には、「ぶれない信念」と「専門的な知識や技術」、そして「豊富な経験値」と「研究コスト」が不可欠です。皆さまが手にするAURO製品は、まさしくAURO社の30余年にわたる研究成果なのです。

最近では、個人でも簡単にインターネットを利用して情報収集ができるため日本国内でもドイツと同じように、「**自然塗料＝原則的に石油合成原料を含まない塗料**」と認識する人が増えています。もし施主様や設計士様が「**自然塗料＝原則的に石油合成原料を含まない塗料**」という認識のもと、自然塗料を指定したにも関わらず、施工業者が石油を多量に含んだ**偽の自然塗料**を安易に使ってしまったとしたらどうなるでしょうか。実際に、施主様が施工後の石油臭に悩んだり、アレルギー症状を発症したりするケースがあり、クレームや施工のやり直しなどの事例も増加しております。

依頼する人、使用する人、販売する人、すべての立場の人が正しい認識を持たなければ**自然塗料**を必要としている人に**本物の自然塗料**は行き届きません。

私たちは今後も真面目に**自然塗料**を必要としている人に、**本物の自然塗料**を届けてまいります。

アウロジャパン株式会社
代表表取締役　鈴木啓太

アウロ・プランツェンヘミー株式会社

AURO社は、100％環境に優しい塗料及び関連製品分野におけるパイオニア企業です。AURO社の塗料、着色剤、オイル、ワックス、クリーニング・ハウスケア剤といった天然原料から作られた製品を使用してみれば、それが市場で売られている従来品よりはるかに効率的でサスティナブルであることがわかります。

Brochure originally presented by AURO AG,
and modified by

アウロジャパン株式会社

■ **東京オフィス**／東京都千代田区麹町1-6-16 半蔵門海和ビル10F
■ **配送センター**／山梨県甲府市大里町3630-1

アウロ公式サイト／http://www.auro.co.jp
Eメール／staff@auro.co.jp
カスタマーサポート／0120-044-790

4 012561 178100

AURO Pflanzenchemie AG
Alte Frankfurter Straße 211
D-38122 Braunschweig
Tel: +49 531 – 28141 – 0
Fax: +49 531 – 28141 – 61
export@auro.de | www.auro.de

AURO
my world ... naturally